

# コロナ禍での食料安全保障を考える ～「国消国産」の重要性～

新型コロナウイルス感染症を受けて、食の安全・安心や国内生産の重要性など食料安全保障の根幹について再認識されている。食料・農業・農村はどのような影響を受けたのか、これからどうなるか、私たちが取るべき行動について考える。

新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、シンポジウムはオンラインでライブ配信し、後日、後援新聞の紙面上で採録記事を掲載します。

## 日時

2021年2月19日（金） 14:00～15:30

## 登壇者

全国農協青年組織協議会 副会長 柿島洋一 氏  
(株)シグマクス ディレクター 田中宏隆 氏  
(株)農林中金総合研究所 取締役基礎研究部長 平澤明彦 氏  
農林水産省 大臣官房政策課 食料安全保障室長 久納寛子 氏  
(株)共同通信社 取締役 共同通信アグリラボ所長 石井勇人

## プログラム

14:00～14:05 開会  
(株)共同通信社 アグリラボ所長 石井勇人  
14:05～14:10 主催者あいさつ  
全国農業協同組合中央会会長 中家徹  
14:10～15:30 討論と質疑応答  
15:30 閉会

### 問い合わせ先

「食料安全保障シンポジウム事務局」[kisaraginews@kyodonews.jp](mailto:kisaraginews@kyodonews.jp)  
電話03-6252-6044 (9:30～17:30、土日祝日除く)

## 主催

全国農業協同組合中央会  
(株)共同通信社

## 共催

神奈川政経懇話会  
埼玉政経懇話会  
千葉政経懇話会  
共同通信社きさらぎ会

## 後援

埼玉新聞社  
千葉日報社  
東京新聞  
神奈川新聞社  
中日新聞  
産経新聞社